



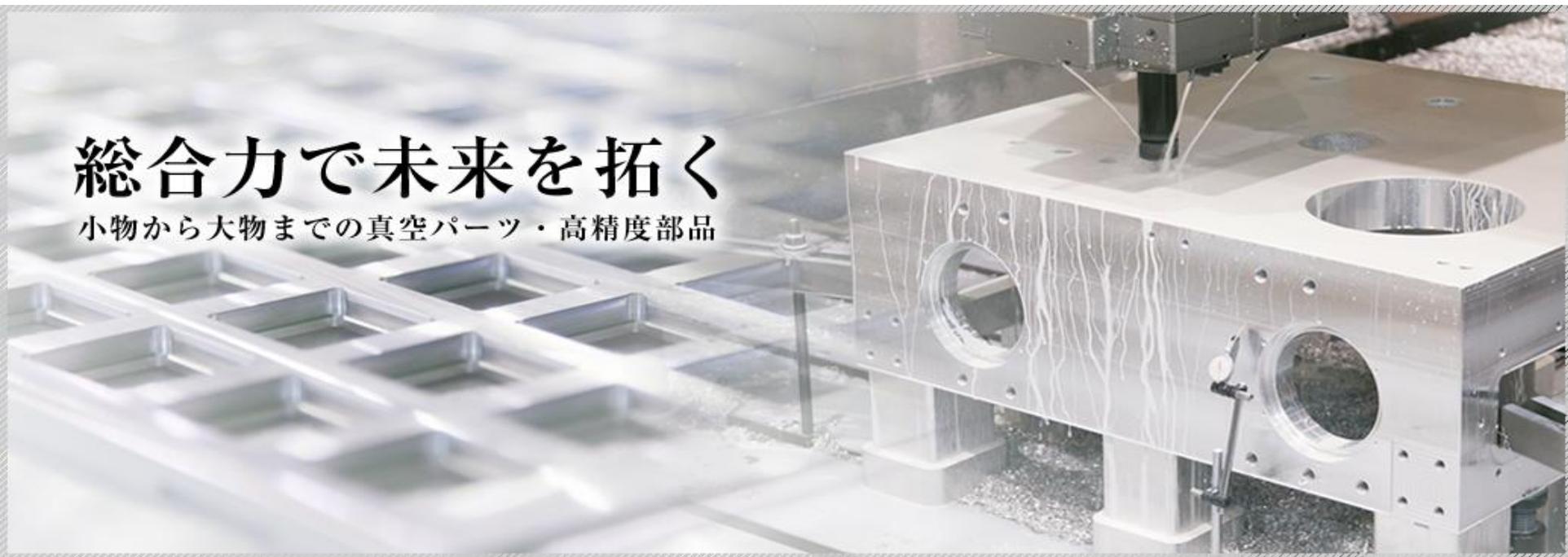
東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
平成30年8月期 第1四半期決算 補足資料

平成30年1月5日

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



PL分析

PL

	平成29年8月期 第1四半期累計期間		平成30年8月期 第1四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	696	—	1,088	—	56.4
受注残高	443	—	882	—	99.1
売上高	618	100.0	1,045	100.0	69.2
売上原価	416	67.3	618	59.1	48.6
売上総利益	202	32.7	427	40.9	111.4
販売管理費	89	14.5	108	10.4	21.1
営業利益	112	18.2	318	30.5	183.4
経常利益	111	18.0	316	30.3	184.8
特別損益	1	0.3	0	—	—
当期純利益	76	12.3	220	21.1	190.0
EPS (円)	7.23	—	18.55	—	156.6
EBITDA	155	—	381	—	146.2

Point

①受注状況

- 半導体分野：871百万円
(対前年同期：72.3%増)
- FPD分野：200百万円
(対前年同期：8.3%増)
- その他分野：16百万円
(対前年同期：237.3%増)

②売上高

- 対前年同期69.2%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：35百万円増
(対前年同期：32.3%増)
- 労務費：50百万円増
(対前年同期：36.6%増)
- 外注加工費：51百万円増
(対前年同期：54.0%増)
- 減価償却費：20百万円増
(対前年同期：50.3%増)

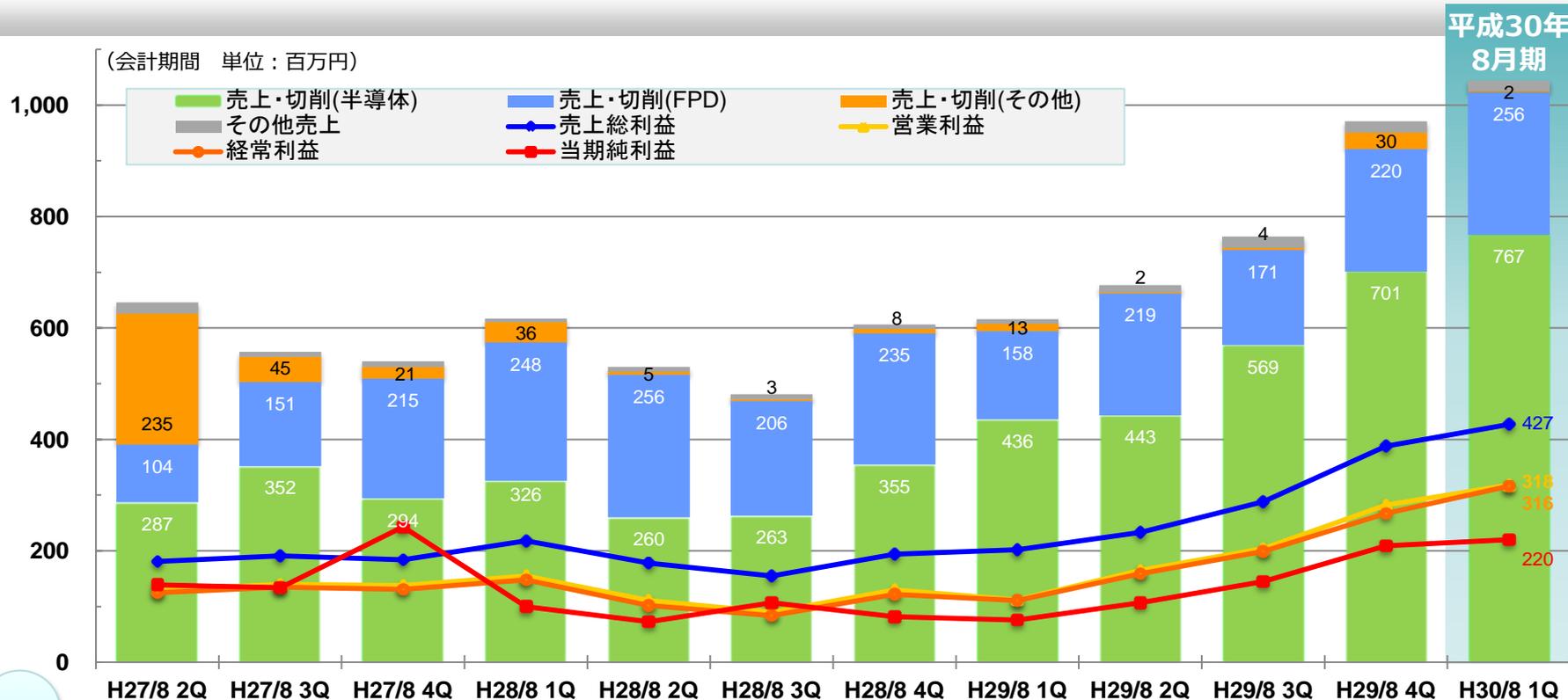
④営業利益

- 支払手数料：7百万円増
- 販管人件費：6百万円増

1.決算概要



四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体・FPD分野が大幅増加

■半導体分野：767百万円（対前年同期：75.8%増）

- ・需要拡大に合わせて、生産設備の増強と流動的人材の確保も進め生産体制を強化

■FPD分野：256百万円（対前年同期：61.5%増）

- ・有機ELとG10.5液晶パネルの受注拡大

■その他分野：2百万円（対前年同期：81.3%減）

②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・売上高の増加に伴い材料費と外注加工費も増加
- ・生産設備の増強と人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等が大幅に増加
- ・販売費及び一般管理費の増加も人件費が増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1.決算概要

B/S分析

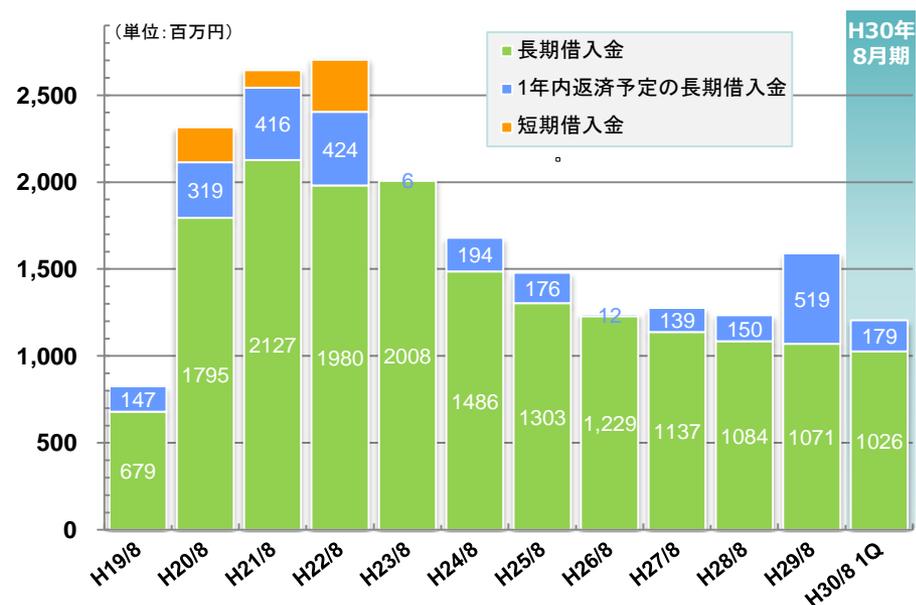
B/S

(単位：百万円)	平成29年8月期 会計年度末	平成30年8月期 第1四半期末
流動資産	3,701	3,132
現金及び預金	2,425	1,727
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	910	1,039
たな卸資産	315	326
固定資産	1,717	1,829
建物・土地	777	772
機械及び装置	852	841
流動負債	1,188	628
有利子負債（短期）※	519	179
固定負債	1,092	1,047
長期借入金	1,071	1,026
負債合計	2,281	1,675
純資産合計	3,137	3,286
総資産	5,418	4,962

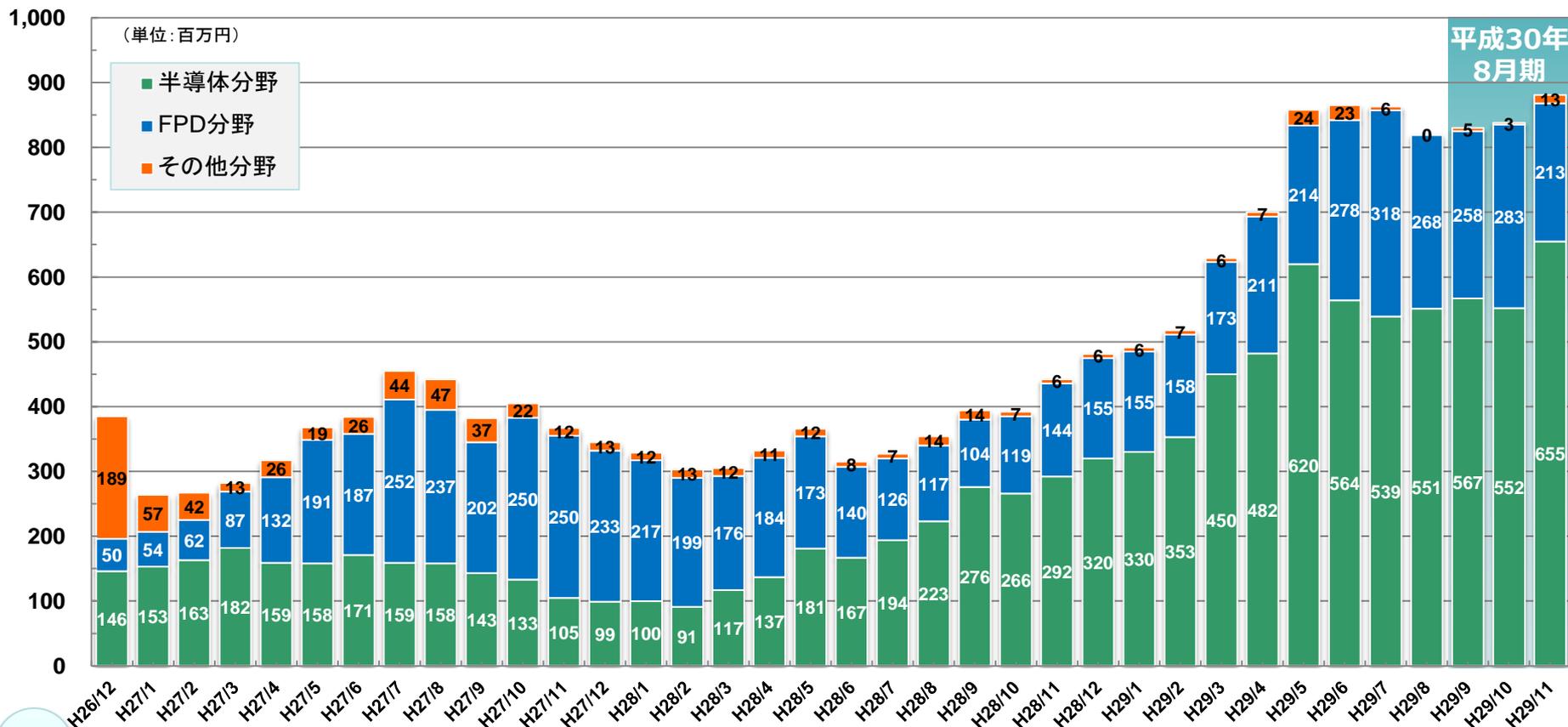
※ 有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：4,962百万円(前期末比:456百万円減少)**
 - 現金及び預金：697百万円減少
 - 売上債権：129百万円増加
 - 有形固定資産：111百万円増加
- ② **負債：1,675百万円(前期末比:606百万円減少)**
 - 1年内返済予定長期借入金：340百万円減少
 - 未払金：163百万円減少
 - 未払法人税等：103百万円減少
 - 長期借入金：44百万円減少
- ③ **純資産：3,286百万円(前期末比:149百万円増加)**
 - 利益剰余金：149百万円増加
 - 自己資本比率：57.9%→66.2%



月次受注残高の推移



Point

- 半導体分野では、当社の生産能力拡大に合わせ、上下しながら段階的に受注と受注残は増加する見込み。半導体製造装置市場は、2017年後半は部品不足から出荷横ばいが続くも、2018年は再拡大を見込む。
- FPD分野は、第10.5世代大型液晶パネル向けと有機EL関連装置の高水準な需要が1年以上続く見通し。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。

3.平成30年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

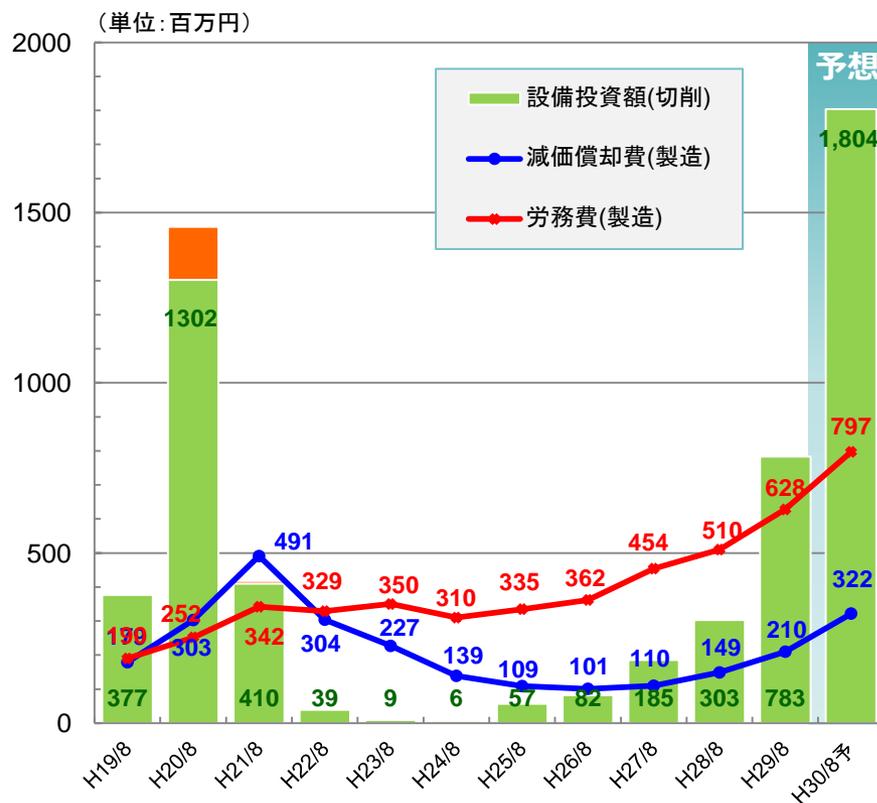
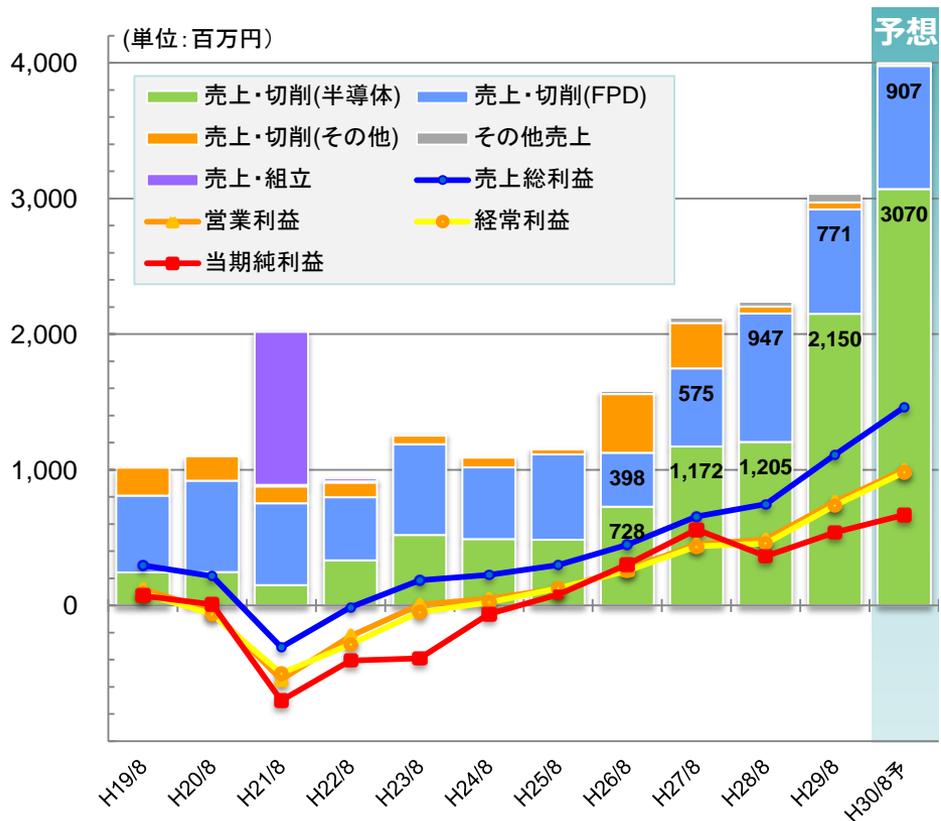
業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成30年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期(累計)	2,000	550	539	367	30.81
通期	4,000	1,000	980	668	56.08

Point

- ✓ 半導体分野は21億から30億以上へ増加見込
ドライエッチング工程とCVD工程の拡大
- ✓ FPD分野は7.7億から9億へ増加見込
- ✓ 半導体分野増強に向け出水事業所取得
- ✓ 新事業所関連の費用増も利益拡大でこなす



中期事業計画の状況

中期事業計画

中期事業計画の進捗と優先順位

事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	エッチャー・CVDで拡大続く 出水事業所取得で増産継続
M & A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	自社投資を優先し中断
新分野	作業補助・介護ロボット等	鹿児島大学と共同研究 ※詳細は次頁
市場変更	期間中に東証一部を目指す	一旦、二部移行後にチャレンジ

中期事業計画（リハビリ装置）の進捗

装置の特徴

脳卒中片麻痺の改善に有効な促通反復療法「川平法」を 医師・療法士の代わりに実現する装置（リハビリロボット）

開発の進捗

- ・ リハビリテーション病院にて医師・療法士による機能確認実施中
- ・ 仕様変更の要望を取り入れ、評価継続中
- ・ 改善後に実証試験開始予定
- ・ 医療機器申請に向け、各種資料準備中



	平成29年11月末 現在	平成30年8月末 目標
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証試験用の装置完成 ・ 関連学会へ装置展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数病院で実証結果取得 ・ 医療機器要求の治験開始
機器製造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 量産性踏まえ全般開発中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 量産試作による量産性確認 ・ 信頼性試験、安全性試験実施
医療機器販売	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器製造販売業、医療機器製造業の取得準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造販売業、製造業取得 ・ 医療機器申請

中期事業計画（リハビリ装置）の進捗

関連学会への展示

平成29年11月18日大阪大学にて開催された「再生医療とリハビリテーション研究会」に出展し実演



出水事業所概要

新事業所取得

パイオニアプラスマディスプレイ株式会社より休止工場を譲り受け
半導体製造装置向け真空パーツ生産に活用



Point

- ✓ 敷地面積7.2万㎡
- ✓ 既存工場込みで取得
- ✓ 既存工場の構造
 - ・クリーンルーム2層構造
 - ・1階10,100㎡
 - ・2階13,750㎡
 - ・1階部分を部品工場へ転換
 - ・5階建ての事務棟併設
- ✓ IoTを活用した生産
- ✓ 平成30年4月末一部稼働

私達は、更に技術で社会貢献できる企業を目指します



Company Profile

企業情報

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

主要製品

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

総合力で未来を拓く～真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー～

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)	発行済株式総数	11,911,600株
設立	昭和63年10月	単元株式数	100株
資本金	5億8,117万円 (平成29年11月30日現在)	株主総数	6,286名
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 専務取締役 山元 弘 取締役 (監査等委員) 鶴田 俊成 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 寺畑 幸雄 取締役 藤山 敏久 取締役 (監査等委員) 梶 智和 取締役 (監査等委員) 大道 卓 取締役 (監査等委員) 桃木野 聡	大株主 (普通株式)	前田 俊一 4,817,200株 日本トラスティ・サービス 信託銀行 509,200株 前田 美佐子 504,000株 日本マスタートラスト信託銀行 209,700株 前田 良子 180,000株 BARCLAYS BANK PLC A/C CLIENT SEGREGATED A/C PB CAYMAN CLIENTS 171,200株 五十嵐 光栄 168,000株 川本 嘉世子 134,000株 資産管理サービス信託銀行 134,000株 マルマエ共栄会 122,400株
従業員数	171名 うち 臨時雇用者等85名 (平成29年11月30日現在)		
所在地	・ 本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 ・ 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・ 精密機械部品の設計および製作 ・ 産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ ソフトウェアの開発、販売 ・ 製缶工事 ・ 配管工事 ・ 運送業務 ・ 不動産の賃貸 		
経営理念	1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する		(平成29年8月31日現在)
	経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。		

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863